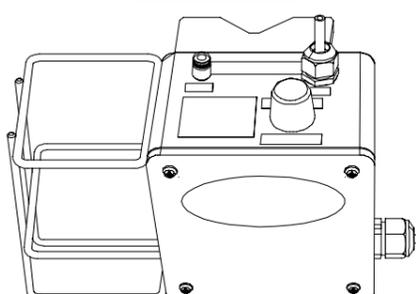


## 1. 部材確認

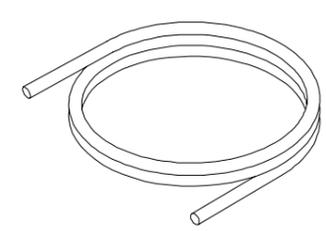
1. 下記の部品がそろっているか確認してください。

部材一覧

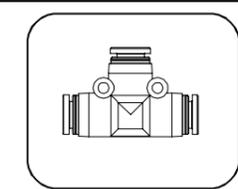
SGC本体



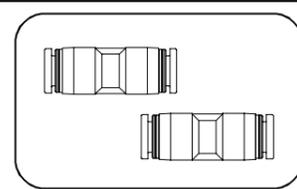
フグチューブ6m(1巻)



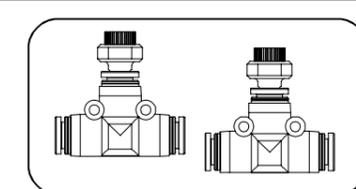
チューブ配管(チース)(1個)



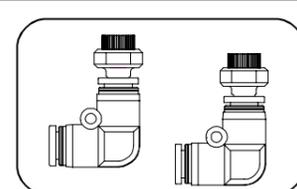
チューブ接続配管(ストレート)(2個)



フグノズル+ノズルホルダー(チース)(2個)



フグノズル+ノズルホルダー(エルボ)(2個)



インシュロック(15本)

SUSバンド(2本)

SUSバンド用加へ(4個)

取扱説明書(1部)

取付要領書(1枚)

## 2. 取付方法

1. バックホウ後方支柱に本体をSUSバンドで固定



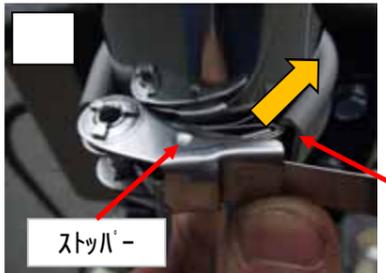
梱包時



スリット開口の向き



締まるまでハンドルを動かす



ストッパー



バンドのスリット開口位置を図の位置へ動かしてください。(スリット位置はハンドルを前後させて変更します。)

バンド用加へ

スリット

バンド

バンドをスリットに入れる

本機ステータス支柱をバンド用加へを入れて巻きつけ、このスリットに上図のようにバンドの先端部を通して、バンドをたるみのない程度に張ります。

止め位置が決まったらハンドルを往復させ、バンドが十分閉まるまで巻いてください。

注意: バンドは1度巻いてしまうと2度と戻りません。本機の位置決めは慎重に行ってください。

締め後ハンドルをストッパーにはめ込んで固定してください。

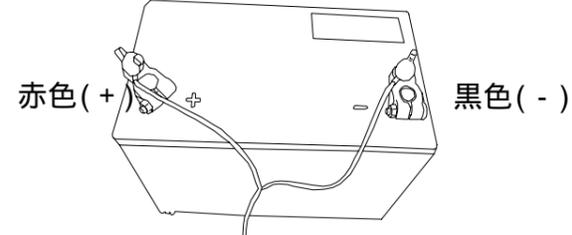
余ったバンドは切断して、ケガをしないように先端を折り曲げてください。(切断が難しい場合は締めたバンドに沿わせて巻いて再度ハンドルに挿入するかテープ等で固定してください。)

上下2か所をバンドで固定し、本機がしっかり固定されているか確認ください。

SUSバンドを取外す際は取扱説明書のD4ページをご確認ください。

2. 電源ケーブルの接続

バッテリーがDC12Vであることを確認してください。  
 プラス側に赤色のケーブル、マイナス側に黒色のケーブルを接続してください。  
 ケーブルの接続は取付時は赤色 黒色の順番で接続してください。  
 取外す際は黒色 赤色の順で取外してください。



注意: バッテリー接続後のケーブルは本機の駆動部に巻き込まれないように固定してください。ケーブルが固定されていないと駆動部に巻き込まれSGCまたは本機が破損する恐れがあります。

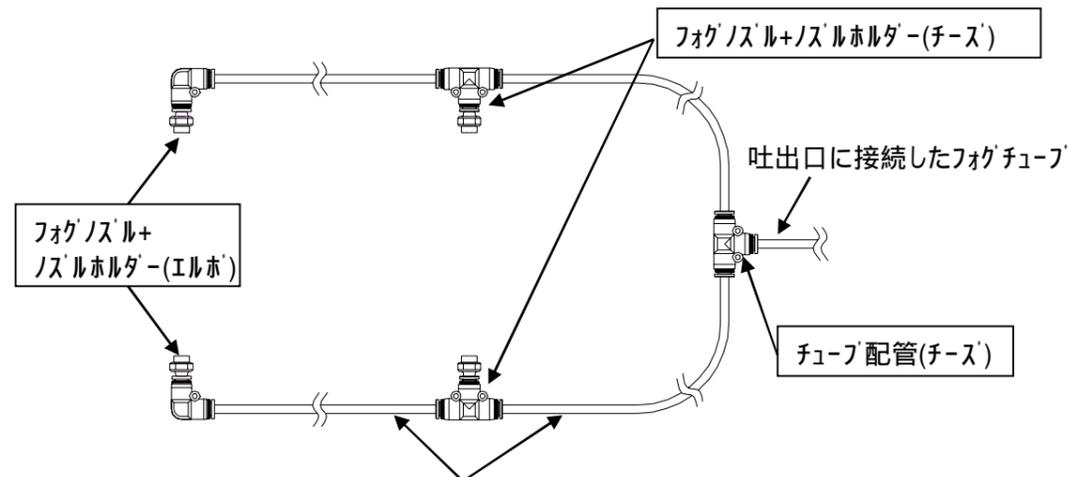
注意: DC12Vのバッテリーでも直列接続の場合接続位置で電圧が変わります。誤ってDC12V以外の場所に接続すると故障の原因となります。

## 2. 取付方法

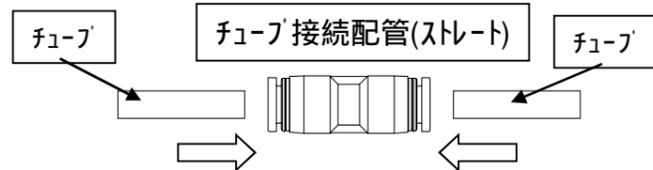
3. チューブをつなぎ、バックホウに取付ける  
 ペットボトルに吸水ホースを挿入してください。  
 本体吐出口と Fog チューブ (必要長さに切って) を接続してください。

オプションの運転スイッチ (延長用) は操作しやすい位置に取付けてください。

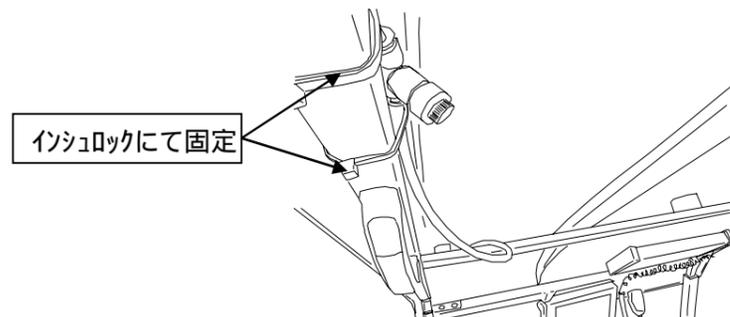
4. ノズルと各 Fog チューブ (必要長さに切って) を接続してください。



Fog チューブは取付時に適切な長さにかつしてください。  
 チューブを必要な長さより短く切ってしまった場合は、チューブ接続配管でチューブを接続して長さを調整してください。



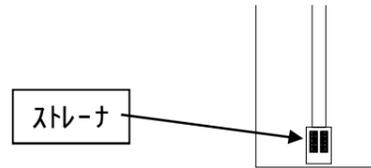
5. 屋根・支柱にノズルをインシュロックで取付けてください。



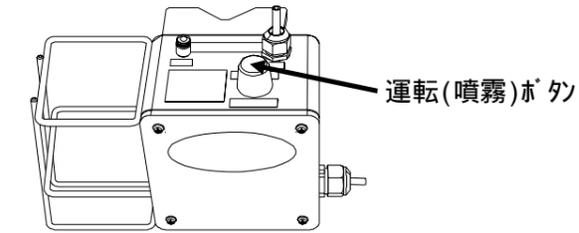
## 3. 運転方法

1. 運転方法  
 ペットボトル内に水が入っており、ストレーナがしっかり水中に沈められているのを確認してください。

水を再度補充する場合は水道水のみ使用してください。



運転 (噴霧) ボタンを一度押してください。設定時間 (30秒 or 1分) ミストを噴霧後、自動で停止します。



運転 (噴霧) ボタンを長押し (3秒程度) すると、強制的に停止させることができます。

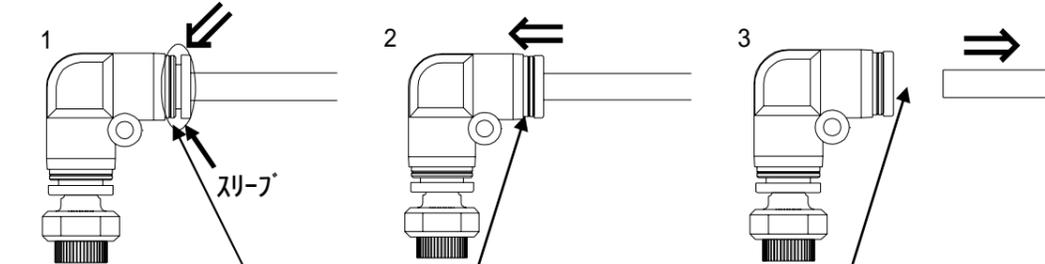
### 注意

ポンプの空運転は禁止です。長時間の空運転はポンプが損傷する恐れがあります。ペットボトルの水を切らさないよう注意してください。

2. エア抜き方法  
 先端のノズルを配管ごと1個取り外してください。



### ノズルの取外し方法



ノズルのスリーブをノズル側に押込む

スリーブを押込んだままチューブを引き抜く

運転ボタンを押して、ノズルを取り外したチューブから水が出てくるのを確認します。  
 停止後ノズルを元通りに取り付けた後運転し、正常に噴霧しているか確認してください。

### 注意

・特に初回使用時や、シーズン時 (長期保管後、初めて運転する際) は配管系統のゴミを出す目的で、必ずエア抜きを行ってください。